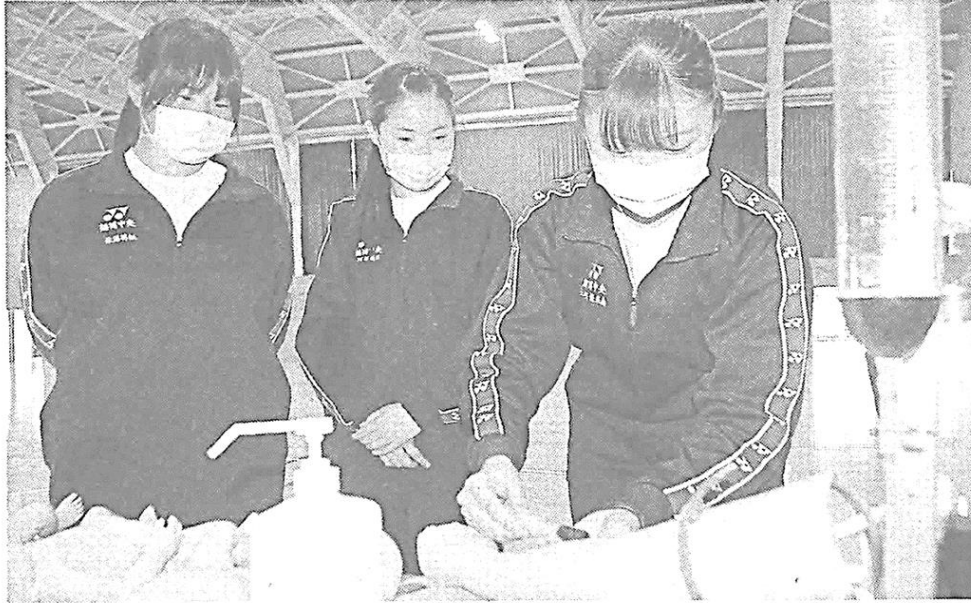




職業体験会

高校生と地元企業の職業体験会が行われた。



仕事の楽しさ見つけ適性探る

庄内地方企業が各高校に出張「職業体験会」

高校生と地元企業の職業体験会「WAKU WAKU WORK 2021」が2日、鶴岡市の鶴岡中央高校で行われた。

進路を決める前の高校生を対象に、職業体験を通して若者の地元定着につなげようと県庄内総合支庁や鶴岡・酒田両市、庄内町など関係機関が実行委員会を組織して毎年、実施している。

この日は建設業2社、製造業3社、サービス業2社、医療福祉3社など合わせて15社が参加。同校総合学科の2年生120人が、各企

生 「採血を体験」する女子高

業の担当者から会社の特色や仕事内容などについて説明を受けた。

このうち、医療機器などを製造する「高研」のブースでは、新生児の扱い方を練習するためのダミー人形と静脈注射模型を使った採血を体験。参加した女子生徒は「作りがとてもリアル。こんなに採血が難しいものとは思わなかった」と話していた。

職業体験会を企画した実行委の担当者は「高校生に地元企業の魅力を伝えることが一つの目的。『こんな職業もあったんだ』と仕事の楽しさを見つけたり、自分の適性に気付く機会につながれば」と話していた。職業体験会はこの後、酒田南、庄内総合、庄内農業、加茂水産高校などでも行われる。

庄内日報

掲載：令和3年6月4日